



2025年12月22日

Unifrutti Group, Peru Safco 社の買収に関して合意を発表。

プレミアムな生鮮果物の生産と流通を手がけるグローバル統合企業であるユニフルーティー・グループ (Unifrutti Group) は、Safco (グローバル・アグロ・ペルーおよび Safco ペルー) の株式 100%をリオ・キング (Rio King) およびその他の少数株主から取得したと発表しました。

Safco は、ペルーの主要なブドウ生産地の一つであるイカ (Ica) にて、約 560 ヘクタールのブドウ農園と 2 つの最新パックハウス (選果・梱包施設) を運営しています。同社は、米国の大手小売業者に向けて、Cotton Candy™ (コットンキャンディ) 、Sweet Globe (スイートグローブ) 、Autumn Crisp (オータムクリスプ) などの品種を中心とした高品質のテーブルグレープ (生食用ブドウ) を供給しています。

今回の買収により、ユニフルーティーは南半球におけるテーブルグレープの主要な生産・輸出企業としての地位をさらに強化し、テーブルグレープ農園の面積は 4,300 ヘクタール超、生産量は年間約 1,500 万箱 (12 万トン) に達します。

Safco 社の買収により、ユニフルーティーはペルーのピウラ、イカ、チリ北部のコピアポ、そしてチリ中部の農園から米国顧客へ 9 月から翌年 6 月までの間、継続的な供給が可能になります。欧州市場向けには、イタリアおよび南アフリカの農園が供給を補完し、世界でも有数のテーブルグレープ供給体制を構築しています。

ユニフルーティー・グループ CEO であるモハメド・エルサーキーは次のようにコメントしています。

「今回の買収は、“年間 52 週間の一貫した供給体制”を実現する、持続可能なマルチフルーツ企業としての地位を築くためのさらなる一歩です。Safco 社の高品質な品種と能力を取り入れることで、世界中の大手小売業者やディストリビューターに対するサービスを強化します。」

この買収の完了は、通常のクロージング条件を満たすことが前提となります。